評価方法	レポート等提出物および実習への参加度（50%） 学期末試験（50%） 試験に対するフィードバックは掲示で行う。
予習・ 復習時間	【予習】 1.1 時間 【復習】 1.1 時間
教科書	A「イラスト図解 いちばんわかりやすい介護術」永岡書店 B「歯科衛生士のための摂食嚥下リハビリテーション 第2版」医歯薬出版
参考書	「最新歯科衛生士教本 高齢者歯科」医歯薬出版 「歯科衛生士講座 高齢者歯科学」永末書店
オフィス- 連絡先	宮城 敦 月 16:40~17:00 miyagi@kdu.ac.jp メールにて連絡ください 山本裕子 月~金 16:20~17:00 3号館2階研究室 yamamoto.yuko@kdu.ac.jp 小堀陽子 月~金 16:40~17:00 3号館2階教員研究室 kobori@kdu.ac.jp 今泉うの 月~金 17:00~18:00 附属病院9階医局 imaizumi@kdu.ac.jp 黒田英孝 月火、木金 17:00~18:00 附属病院9階医局 kuroda@kdu.ac.jp *各教員、事前にメールをいただくと確実に対応可能です。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (4/7)	実習の概要説明 事前テスト（ほぼ全範囲） 講義：高齢者の特徴	[予習] 教科書 B, P.1-18 を読んでおくこと [復習] 高齢者の特徴の再確認 [キーワード] 加齢による変化（身体的, 知覚的, 心理的, 認知機能, 免疫機能）	実習 ○宮城 山本 小堀
2 (4/14)	講義：摂食嚥下の仕組みとその障害 ① 摂食嚥下の仕組みを説明できる。 ② 摂食嚥下の発達とその障害を説明できる。 ③ 加齢による摂食嚥下障害を説明できる。	[予習] 教科書 B, P11-23, 34-67, 135-149, 168-193 を読んでおくこと [復習] 摂食嚥下の仕組みと発達を振り返る。老化による摂食機能低下について振り返ること。 [キーワード] 摂食の5期、プロセスモデル、摂食嚥下機能獲得段階、摂食嚥下障害、間接訓練、窒息、誤嚥性肺炎、摂食スクリーニングテスト	講義 ○宮城、 小堀
3 A (4/21) B (5/12)	実習：高齢者疑似体験・車椅子の操作と移乗 ① 高齢者の機能低下について体験して理解する。 ② 車椅子の操作と移乗について習得する。 ③ ユニットへの移乗について習得する。	[予習] 教科書 A, P12-24, 112-133 を良く読んでおくこと [復習] 高齢者は活動性が低下することを考察する。車椅子の名称と操作法について復習する [キーワード] 高齢者疑似体験、車椅子、車椅子の名称（ティッピングバー、ハンドリム、フットサポート）	実習 ○小堀 宮城
4 A (5/12) B (4/21)	実習：介護技術（体位変換、ベッド車椅子移乗） ① 体位変換技術について習得し、説明できる。 ② ベッド車椅子移乗について習得する。	[予習] 教科書 A の該当部分を読むこと [復習] 体位変換法について実際に復習すること [キーワード] 基本姿勢、寝返り、起き上がり、体位（端坐位、半座位、フアーラ位、仰臥位、側臥位、腹臥位）、健側、麻痺側、体位変換	実習 ○關(看護科)、 宮城 山本
5 A (5/19) B (5/26)	実習：バイタルサイン・モニタリング ① 脈拍数の測定法を習得し、説明できる。 ② 血圧の測定法を習得し、説明できる。 ③ 動脈血酸素飽和度（SpO ₂ ）について説明できる。	[予習] 血圧、脈拍、動脈血酸素飽和度を調べること。 [復習] 上記について再度確認する。 [キーワード] バイタルサイン、呼吸、体温、脈拍、血圧、触診法、聴診法、	実習 ○今泉 宮城 山本、 小堀

		動脈血酸素飽和度、パルスオキシメーター	
6 A (5/26) B (5/19)	実習：嚥下調整食（介護食・配慮食） ① 嚥下調整食の必要性を理解し、説明できる。	[予習] 教科書 B, P161-169 を読んでくること [復習] 障害者や要介護者に合う食形態について考察すること [キーワード] 嚥下食ピラミッド、嚥下(調整)食、とろみ剤、食形態、初期食、ペースト食、押しつぶし食、咀嚼食	実習 ○服部(招聘講師)、 宮城 山本 小堀
7 A (6/2) B (6/9)	実習：救急蘇生法 ① 一次救命法について習得し、説明できる。 ② AED について習得し、説明できる。 ③ 2次救命について説明できる。	[予習] 救急蘇生法について調べること [復習] 一次救命法について考察すること [キーワード] 心肺蘇生法、胸骨圧迫、一次救命 (BLS)、二次救命 (ALS)、AED、CPR、ハイムリック法	実習 ○黒田 宮城 小堀
8 A (6/9) B (6/2)	実習：摂食嚥下評価、車椅子上での口腔衛生 ① 摂食嚥下の評価を習得し、説明できる。 ② 車椅子上での口腔清掃を習得し、説明できる。	教科書 B, P19-21, 117-123、および講義プリントを読んでくること。 [復習] 評価法を確認する。安全で効果的な口腔清掃方法を考察する。 [キーワード] RSST、MWS T、F T、咳テスト、オーラルディアドコキネシス、咀嚼機能検査、聖隷式嚥下質問用紙、EAT-10、口腔湿度、口腔健康管理	実習 ○山本 宮城 小堀
9 A (6/16) B (6/23)	実習：摂食嚥下リハビリテーション1) 間接訓練 ① 間接訓練について習得し、説明できる。	[予習] 教科書 B, P202-215h および講義プリントを読んでおくこと。 [復習] 間接訓練法に何があるか考察する。 [キーワード] 脱感作、バンゲード法、ガムラビング、嚥下体操、頭部挙上訓練(シャキア)、ブローイング、アイスマッサージ、押し運動	実習 ○宮城 山本 小堀
10 A (6/30) B (7/7)	実習：摂食嚥下リハビリテーション2) 直接訓練 ① 直接訓練について習得し、説明できる	[予習] 教科書 B, P194-201, 216-226 および講義プリントを読んでおくこと。 [復習] 直接訓練法に何があるか考察する。 [キーワード] 息こらえ嚥下、一側嚥下、横向き嚥下、うなずき嚥下、嚥下	実習 ○宮城 山本 小堀

		の意識化	
11 (7/23)	講義：ふりかえり、まとめ ① 摂食嚥下機能の復習 ② まとめ	[予習] 教科書 B および講義プリントを読んでおくこと。 [復習] 摂食嚥下機能について再度考察する。	講義 ○ 水上 (招聘講師) ○ 宮城 山本 小堀

注：第1回、第2回、第11回はA・B班合同授業。第3回から10回は、班(A・B)によって順番および日程が変更になります。